



平成 27 年 5 月 1 日

らいかい恵子 議員便り

158 号

合志市議会議員 来海恵子 合志市幾久富1642 - 38

090-9655-1143

風薫る 5 月いかがお過ごしですか？毎年、ゴールデンウィーク明けに疲れや環境の変化から体調不良や不登校が増えます。また、5 月 17 日は中学校、31 日は小学校の運動会です。短期間の運動会の練習の疲れも出やすいので、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣を崩さないようにしましょう。

決意新たに！

4 月 26 日に行われた合志市議会議員選挙では、みなさまのお力で 1,312 票、7 位で当選させていただき、心から感謝申し上げます。今更ではございますが、多くの方に支えていただいていることを改めて実感し、嬉しさと共に責任の重さをひしひしと感じています。

また、選挙期間中とはいえ、小さなお子さまや病気の方、夜勤明けなどで眠っているみなさまに、大きな声でご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。お許してください。

私は、4 期目(合志町議 1 期含む)も、子ども達の未来のために誰もが住みやすいまちづくりと故郷づくりに邁進^{まいしん}してまいります。脇道にそれそうになったり、生意気になったら、ピシピシ叱ってください。初心を忘れることなく、ただひたすら合志市を良くすることを考え、みなさま方のお声を市政に反映せねばと決意を新たにしました！



当選証書いただきました

出会いに感謝！

選挙期間中も、通常通り7時から永江味千ラーメン交差点で朝の交通指導を行い遊説

に生まれました。なぜならば、私の使命は合志市のお宝さんである子ども達が健やかに育つことだからです。朝の交通指導やダンボールコンポスの授業を8年間合志市内の小学4年生に教えているおかげで、どこに行っても子ども達が「らいかいさん！」と手を振ってくれました。中には「来ちゃんには、子どものころに可愛がってもらって感謝しているよ。僕も20歳になったので、今度は僕が来ちゃんを応援します！」と言ってくれる子が何人もいて嬉しかったです。子ども達は大人の背中を見ているのだ、この子達に恥じないよう生きなくてはと改めて思います。

ほとんど自分でウグイス嬢もしながら、公園を見つけては演説。「何故議員報酬引き上げに賛成したのか」、「この議員報酬をどう活用するのか」、「次の4年間で何をするのか」、をしっかりと訴えました。「弱い人のこともお願いします！」と、足が痛いのに出てきて、手を握ってくれたお母さん。「議員便り読んでいます。頑張ってください！」と、手をふってくれた若いご夫婦。中には、「待っているのに会えなかった！」と嬉しいお叱りもありました。一期一会の出会いに感謝し、みなさまの想いはしっかりと受け止めました。



らいかい恵子

日本大学法学部政治経済学科卒業

議員として三期十三年を通じ、私の政治理念は、

『現場第一主義』です。

そのためには、行政も議員もサービスマスターの自覚を持ち、安心で、安全な生活を市民のみなさまに提供しなければならぬと肝に銘じています。

私の目指す「良か合志市」は、当たり前のことが当たり前になるまで、自分が交通事故にあつたり、高齢の母を介護するようになって、今まで気付かなかった平凡で当たり前の生活の有難さが身にしみて分かりました。思うように動けない不自由さや、福祉サービスの必要性など、身を持って体験したこと、地域を回り自分の目で見たこと、自分の耳で聴いたこと、肌で感じたことを、市民の皆様への代弁者として市政に活かします。議員として日々の勉強を怠らず、現状や課題を的確に把握し、議会場で問題提起や事業提案を行い、市政に反映させ、結果を市民の皆様にお伝えする「議員としての仕事」をきちんと果たせるよう誠心誠意努めてまいります。

遊説中にお約束したことは、時間がかかっても必ず実行してまいります。できないときは、何故できないかを議員便りやホームページでお知らせします。

私は不器用で、真っ直ぐ、はっきり意見を言うので敵も多いのですが、母から「全員に好かれようと思ったら厚かましい。八方美人は良い時は良いけど、困ったら八方塞がり。嫌われる勇気を持ちなさい！」と中学生の時に教わりました。

是は是、非は非、信念を貫くことは勇気がいります。時には、議会で孤立するかもしれません。しかし、私が守るべきものは合志市民の安全と安心な暮らしです。迷ったときは、「私が守るべき市民に申し開きができるのか？」を自分に問いかけています。

低投票率

前回の無投票の選挙から、一転して 27 人が立候補した非常に厳しい選挙でした。しかし、投票率は平成 19 年の 68.34 % に対して、今回は 10 ポイント以上も低い 57.68% でした。

選挙前は、「議員報酬引き上げ！」の是非が問われたのにも関わらず、有権者の盛り上りに欠けた選挙だったと思います。関心が薄いのは、有権者にも責任がありますが、議会にもあると考えます。13 年間毎月議員便りを配っていて、「こうし広報や議会だよりを読んでも、難しくて分からない！」「報酬は引き上げて良いが、議員一人ひとりの日頃の活動が見えない！」「選挙の時だけお願いに来ても、何を考えているのか分からない！」と、お叱りを受けました。議会だより・議会のインターネット中継・議会報告会など開かれた議会を目指して努力をしていますが、したつもりで自己満足になっていないか、一方通行になっていないか。今回の投票率を真撃^{しんし}に議会全体で受け止め、どうすれば議会が市民の身近な存在になるのか、積極的に取り組んでまいります。また、市民のみなさまにもお願いがあります。ご自分が選んだ議員が、4年間どんな活動をしているのか、しっかりと関心を持ってください。そして、「これはどうなっているのか？」「あれは、どうすればいいのか？」分からないことがあれば、どしどし訊^{たず}ねてください。私達議員は、「みなさまのお役に立たせてください！」「素晴らしい合志



市にします！」と訴えて当選させていただきました。問い合わせいただくと、しっかり調べてお答えします。そうすることで互いの信頼関係が深まるのではないのでしょうか？

毎朝子ども達を見ていると、喧嘩したり・苛められても「辛いことを辛い」、「嫌なことを嫌だ」と発せられない子がいます。子ども達は、みな幸せになるために生まれてきました。どの子も健やかに育てほしい、気持ちの強い子に育てほしいと、依存型から自立型の親子関係になってほしいと心から願っています。

私の夢は、合志市の子ども達が大人になって「僕の故郷は合志市です！」と胸を張って言ってもらえる、壁にぶつかった時に「何時でも帰れる故郷合志市がある！」と踏ん張れる元気な故郷合志市づくりです。

誰もが住みやすいまちづくり（3月議会一般質問抜粋）

来海:高齢者の一人暮らしで、ゴミ出しができない人がいます。見守りを兼ねて自宅前にごみを出せば、収集してもらえるようなことはできないのでしょうか。

環境衛生課長:高齢化が急激に進み、単独世帯が増えて行く中で、様々なサービスの一つとしてゴミ出しのあり方について、どういう支援ができるか関係各課と勉強を重ねます。

来海:高齢者に対して、どんなサービスがあるのか非常に分かりにくいのが現状です。親を合志市に残し、離れて暮らしている人たちにも、わかりやすく情報が取れるようなサイトを作ったり、高齢者向けの情報を冊子にして希望者に配布したらいかがでしょうか？

高齢者支援課長:本来なら包括支援サービスの窓口に来てもらって対応しています。遠方の方はHPを利用されており、分かりづらい部分をどうするか、今後検討していくので、それまでは介護保険の冊子を希望者に配布しているので利用してください。

来海:南部地区も空き家が各地に点在しています。高齢者や子ども達が集う居場所が熱望されていますが、市が仲立ちはできないのでしょうか。

高齢者支援課長:28年4月に新たな介護保険事業がスタートし、空き家を利用したサービスができるか検討してみます。

来海:再選されたら9月議会で検討結果を伺いますのでよろしくお願いします。

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38 来海恵子 TEL/FAX 248-8956

090-9655-1143 Mail rai-ok@nifty.com <http://raikaikeiko.info/>

